

第3次横手市観光振興計画(案)にお寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

1. 募集期間 令和3年2月19日(金)～令和3年3月20日(土)

2. 意見数 提出 1名 1件

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	第4章 施策の展開 2. 新たな観光資源の活用 3. 観光誘客の取り組みの強化	<p>両項目の具体策として、当市の観光消費額の現状で、日帰り、宿泊とも、低調となっているが、この要因の一つとして、「コト」体験にスポットを当てたアクティビティがない点が挙げられる。コンテンツになり得る資源は多数存在しているが、実際の観光客がアクセスできる形の商品化がされておらず、実施事業者も少ない。よって、着地型体験プログラム、アクティビティ商品が非常に少ないことから、次の対策を打ってほしい。</p> <p>①農家、酒蔵、商店など観光資源になり得る素材を持っている事業者、当事者自らが、その価値を自覚し、アクティビティの受入先となれるような事例紹介、研修、講座等を行う。</p> <p>②上記のアクティビティ化されたコンテンツを繋ぎ、ツアーや体験プログラムなどの観光商品として事業を実施しようとする事業者に対するモニターツアー等の助成策や先進地事例の勉強会の開催等を行う。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本件については、計画内『2. 新たな観光資源の活用_⑤消費者ニーズの変化に伴う、「モノ観光」から「コト観光」へのシフトに対応するため、体験プログラムの充実を図ります。』の施策としての展開を計画しております。</p> <p>当市としても、コト消費が観光消費全体の拡大につながることを十分認識しており、関係事業者等への啓発、奨励に取り組んでまいります。</p> <p>また、当市が実施している観光エキスパート事業においても、新たな素材を追加しながら、パッケージ化を図り、着地型体験商品として、観光客及びツアー造成する旅行者に対して発信してまいります。</p> <p>当市にしかない観光素材の磨き上げや魅力あるツアー商品としての確立に向けて、観光地域づくりの舵取り役である(一社)横手市観光推進機構と連携して、戦略的なマーケティングを行ってまいります。</p>